| 都道府県名 | 静岡県 | 学校種 | 聾学校 |
|---|---|---|---|
| 担当する教科等 | 音楽 | 該当領域 | 器楽 |
| 教授内容 | 和太鼓 | | |
| 講師の職業等 | 太鼓サークル会長 | | |

内容

実施期間　平成１５年　５月１３日～平成１６年　３月１６日
対象学年　中学部　１、２，３年
合計授業時間数　　３２時間　　（週コマ数）　１時間

1　目的・経緯

本校では、中学部生徒全員で週１回和太鼓の学習に取り組んでいる。

聴覚障害のある本校の生徒にとって、身体全体でリズムを感じ取れる和太鼓は意欲的に取り組めるものの一つである。また、中学部全員で取り組むことにより、気持ちやリズムを合わせることを通して、仲間作りにもつながっている。

しかし、本校には和太鼓の専門的な指導ができる教員がいないため、和太鼓の分野で実績のある方に特別非常勤講師をお願いした。

2　具体的教授内容・活動実績

生徒の手前で手本披露、和太鼓の技術指導。
本校生徒のための曲目の作曲。

3　教科担任・学級担任との分担方法

中学部として和太鼓の指導の担当教員を４名配置している。授業は担当教員が進め、特別非常勤講師にはその中で、師範、指導助言及び個々の生徒に対して個別に指導していただいている。授業の内容や進め方については事前に打ち合わせを行っている。

4　効果・課題

非常勤講師に指導を受けながら基礎練習・曲の練習をくり返す中、ほとんどの生徒がいろいろな打ち方を覚え、演奏できるようになった。また上手になろうと、くり返し練習したり、たたき方を工夫したりするなど意欲的に取り組む姿が見られる。

本校の学習発表会では、中学部全員での太鼓演奏を披露し、幼児児童、保護者、地域の方々にその成果を伝えることができた。

また、講師の紹介により市内で行われる「みこし祭り」に参加している。様々な団体と一緒にステージで発表することにより、聾学校での太鼓の取組や聾学校について、地域の方々に知っていただくよい機会となっている。

職員の人事異動等の関係で、担当教員が継続して指導を行うことができる体制作りが課題である。

5　その他

本校中学部の和太鼓演奏は、生徒への教育効果も高く、また地域へのアピールもできることから、来年度も継続していきたい。